

老朽排水管の更新による高等専門学校の敷地冠水対策

概要 要：久留米工業高等専門学校において、老朽化により機能低下し、豪雨の際に敷地内で冠水が頻発していた排水設備の更新工事を実施。工事後の令和7年8月10日の低気圧と前線による大雨では冠水被害は生じなかった。

対策名：21 学校施設等の耐震性及び劣化状況に関する緊急対策＜3か年緊急対策＞【文部科学省】

- 実施主体：久留米工業高等専門学校
- 実施場所：福岡県久留米市
- 事業概要：久留米工業高等専門学校において、敷地内の排水管が設置後51年経過しており、耐用年数(15年)の3倍以上使用し続けている状況であった。このため、排水溝に土砂が流入したものが蓄積され、排水管が閉塞したことから構内道路の冠水が頻発し、学生等の通行に支障をきたしていた。本対策工事により老朽した排水設備の更新を実施することで、冠水による事故等を未然に防止し、安全を確保した。
- 事業費：約2.1億円(令和2年度)
(うち3か年緊急対策約2.0億円)

- 災害の外力、被害と効果：

工事後の令和7年8月10日の低気圧と前線による大雨では、久留米市付近で1時間降水量110mmを記録し、非常に激しい雨の影響で記録的短時間大雨情報が発表された。

久留米工業高等専門学校のキャンパス内では以前より冠水が頻発していたが、対策が完了していたことから、冠水による被害は生じなかった。

【5か年加速化対策における教育研究活動に著しく支障がある国立大学法人等施設(ライフラインを含む)の老朽化対策の実施率(%) (ライフライン3768km+5962台の対策実施割合)】

R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 (目標)
9.1	14.7	17.8	20.4	45



排水管更新の様子

